

2. 技術開発の目的および目標

本事業は、家庭および事業所などから発生する使用済みてんぷら油等の廃食油を原料としたバイオ燃料の製造において、新規に開発した固体触媒を用いた接触分解反応により、オレフィン・パラフィンを主成分とする軽油質のバイオ燃料を高効率に合成する技術を確立することを目的とする。

本開発の目標は以下の通りとする。

- 廃食油処理量5 L/hの実証装置によるバイオ燃料の製造
- バイオ燃料の収率（廃食油からバイオ燃料への熱量収率）65%以上
- バイオ燃料の自動車燃料としての品質クリア
- 製造したバイオ燃料の自動車燃料としての適用性